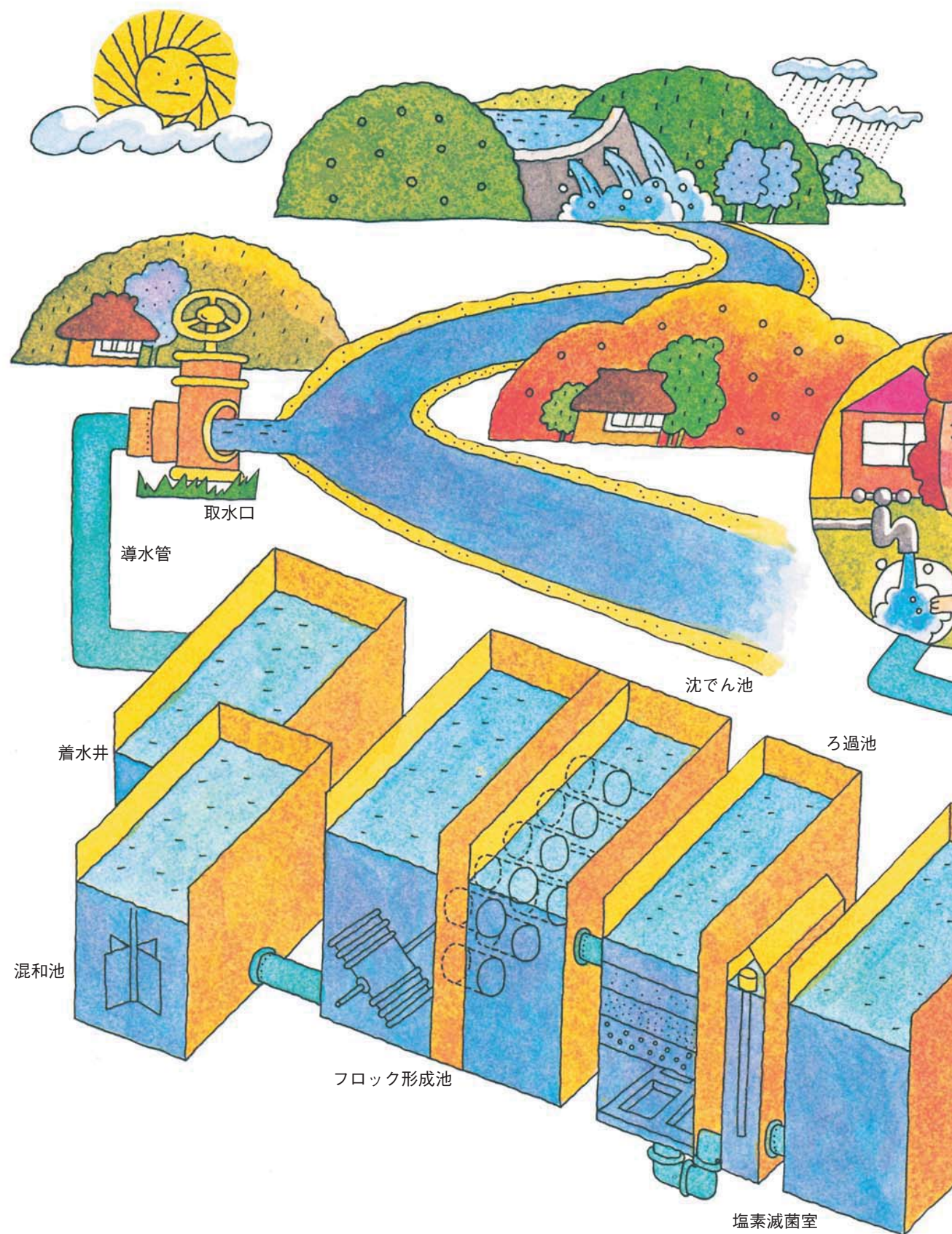


県営水道、市町村営水道は二人三脚で、 ご家庭に水をお届けしています



■県営水道は市町村営水道の新しい水源、 いわば「水の間屋」です

経済の高度成長や都市化の進展、生活水準の向上にともなって、水の需要は増加してきました。この水需要をまかなうためには、新しい水源を求めなくてはなりません。本県には適地がないため、遠く県外にダムをつくり、長い水路を使って水を引き、浄水場を建設し、やっと水づくりができるのです。こうした水づくりには、大がかりな施設と多くのお金が必要となりますので、一つの市町村だけで行うことは容易なことではありません。そこで、こうした分野を県がかかわって受持ち、それぞれの市町村へ水を供給するという新しい水道のシステム（水の間屋）が生まれてきたのです。

■市町村営水道と一体となって 県民のみなさんのくらしを支えます

県営水道が供給する市町村の区域で使用される水道水の約70%は県営水道から供給された水で、残りの約30%は市町村が保有する地下水や河川水などを水源としています。

県営水道は、市町村営水道と二人三脚で、みなさんの家庭へ大切なくらしの水をお届けするという、大きな役割をになっているのです。

